

# 砂防だより



マメザクラの彼方に（伊豆市）

新任のご挨拶 .....	2
静岡県の組織変更・職員紹介 .....	3
<b>砂防関係予算</b> .....	4
あなたのまちの安全度 .....	6
土砂災害警戒区域等の指定状況 .....	8
気象庁と連携した新しい防災情報の発表 .....	9
平成18年度 土砂災害に関する絵画・ポスター・作文 表彰式・優秀作品の紹介 .....	10
インフォメーション .....	12
新人紹介・土木事務所担当者紹介 .....	16



## 平成19年度 当初予算

### あなたのまちの安全度



全国治水砂防協会静岡県支部

# 新任のご挨拶



陽春の候、会員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

4月1日付けで静岡県建設部長を拝命した衛門です。このたび、全国治水砂防協会静岡県支部顧問に就任しましたので、よろしくお願いたします。

静岡県は、県土の約73パーセントを山地が占め、急流河川や急峻な地形が多く、脆くて崩壊しやすい地質が全域に分布し、土砂災害危険箇所が多数存在しています。これまでも、昭和33年の狩野川台風、昭和49年の七夕豪雨、昭和57年の台風、平成3年の伊豆半島南部局地豪雨など何度となく大災害に見舞われてきました。最近では、平成16年に伊豆半島を直撃した台風22号などで99件の土砂災害が発生しています。

本県では、総合計画「魅力ある“しずおか”2010年戦略プラン」に基づき、県民の安心・安全の確保のため、土砂災害防止施設の整備を進めるとともに、土砂災害やその警戒避難に関する情報の提供などのソフト対策も進め、被害の防止を図っています。

さらに、この6月からは、土砂災害の危険性が高まった時に、住民の方々の早期避難に役立てていただくよう、静岡地方气象台と連携して「土砂災害警戒情報」を発表する予定です。

会員の皆様におかれましては、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、伝統ある砂防協会の益々の発展を祈念いたしまして、就任の挨拶といたします。

全国治水砂防協会静岡県支部顧問  
静岡県建設部長

えもん ひさあき  
衛門 久明

## ▶▶平成19年度の行事予定◀◀

月日	時刻	活動	会場等
4月 24日(火)	14:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡市内
5月 16日(水)	11:00	(社)全国治水砂防協会平成19年度通常総会	砂防会館(東京都)
27日(日)		土砂災害に対する全国統一防災訓練	静岡市ほか10市町
29日(火)	13:30	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡市内
29日(火)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部平成19年度通常総会	静岡市内
6月1~30日		土砂災害防止月間	静岡県内各地
1~7日		がけ崩れ防災週間	静岡市内各地
10日(日)	10:30	砂防フェスティバルしずおか	静岡市内(青葉緑地)
8月 中旬		国土交通省、静岡県選出国會議員への要望	議員会館等(東京都)
下旬		市町長等砂防事業県外視察	未定
10月 11日(木)	10:30	第1回 砂防担当者のための土砂災害防止の実務講習会	砂防会館(東京都)
中旬		市町等砂防担当職員研修	未定
11月 中旬		東海4県協会支部長・砂防課長合同会議	静岡県(予定)
27日(火)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
	13:00	静岡県選出国會議員への要望	議員会館等(東京都)
3月 中旬		砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※太字の行事について、会員本人の積極的なご参加をお願い申し上げます。

速報

平成19年度

当初予算

砂防関係  
予算

96億8,514万円余

平成19年度当初予算が平成19年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆1,395億円で前年度に比べ約0.1%減でした。

砂防関係予算の総額は96億8,514万円余で前年度より約3億9,412万円の減となりました。(前年度当初比96.1%)  
主な内訳は次のとおりです。

1 国庫補助事業

69億3,100万円 (前年度当初比94.9%)

国の補助を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

2 県単独事業

16億4,000万円 (前年度当初比98.9%)

国庫補助事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、東海地震に備えて緊急輸送路関連土砂災害対策事業等を実施します。

3 国直轄事業費負担金

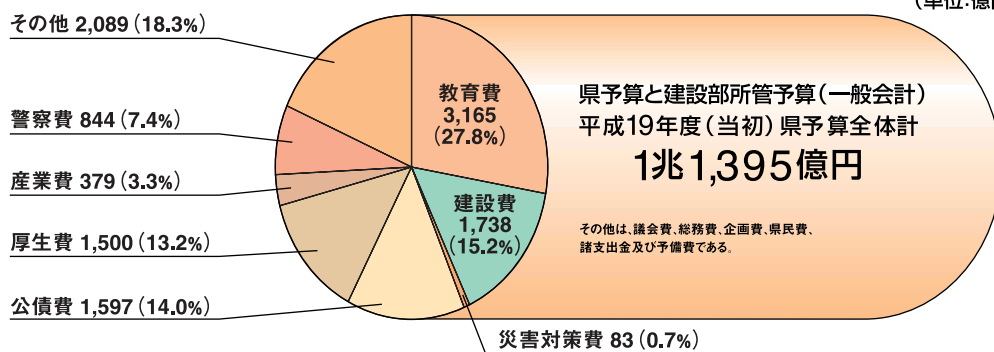
11億1,100万円 (前年度当初比100.0%)

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び、由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

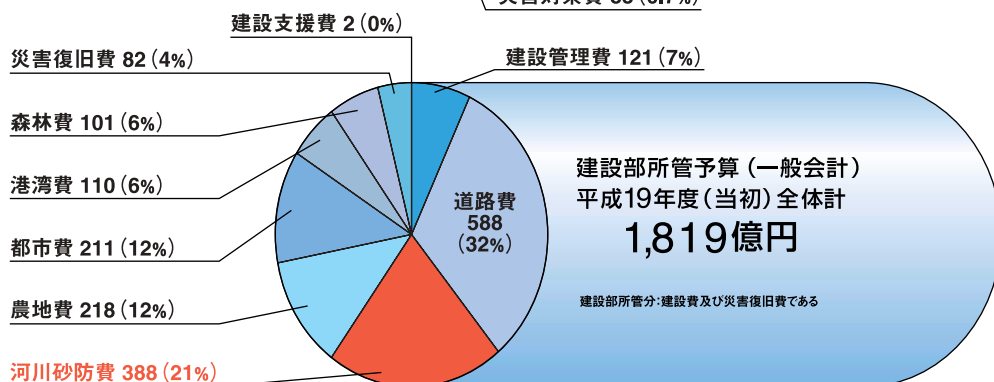
静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

● 県予算と建設部予算 (平成19年度当初)



● 建設部所管予算 (平成19年度当初)



(単位:千円、%)

●平成19年度砂防関係事業予算額

事業名	平成19年度		平成18年度		A/B	A/C			
	当初	A	当初	B			最終	C	
砂防管理費		3,140		3,258		3,258	96.4	96.4	
国庫補助事業	砂防	通常砂防	585,000	708,000	694,000	82.6	84.3		
		通常砂防(河川等関連)	25,000	140,000	105,000	17.9	23.8		
		通常砂防(住宅特治)	110,000	100,000	129,000	110.0	85.3		
		通常砂防(総流防)	40,000			皆増	皆増		
		特定緊急砂防	20,000			皆増	皆増		
		情報基盤緊急整備(砂防)	3,000	10,000	10,000	30.0	30.0		
		相互通報システム(砂防)	2,000	24,000	24,000	8.3	8.3		
	小々計	785,000	982,000	962,000	79.9	81.6			
	火山	火山砂防	459,000	558,000	558,000	82.3	82.3		
		火山砂防(河川等関連)	85,000	80,000	80,000	106.3	106.3		
		特定緊急砂防	140,000	70,000	70,000	200.0	200.0		
	小々計	684,000	708,000	708,000	96.6	96.6			
	砂防基礎調査(砂防)	309,000	285,000	285,000	108.4	108.4			
	小計	1,778,000	1,975,000	1,955,000	90.0	90.9			
地すべり	地すべり対策	336,000	196,000	196,000	171.4	171.4			
	地すべり対策(河川等関連)	84,000	162,000	84,000	51.9	100.0			
	地すべり対策(住宅特治)	40,000	40,000	40,000	100.0	100.0			
	特定緊急地すべり対策	50,000	222,000	222,000	22.5	22.5			
	地すべり対策(総流防)								
	情報基盤緊急整備(地すべり)	1,000	2,000	2,000	50.0	50.0			
	相互通報システム(地すべり)	1,000	2,000	2,000	50.0	50.0			
	小々計	512,000	624,000	546,000	82.1	93.8			
	砂防基礎調査(地すべり)	3,000	3,000	3,000	100.0	100.0			
	小計	515,000	627,000	549,000	82.1	93.8			
急傾斜	急傾斜地崩壊対策	2,106,000	2,069,000	2,061,200	101.8	102.2			
	急傾斜地崩壊対策(河川等関連)	73,000	160,000	160,000	45.6	45.6			
	急傾斜地崩壊対策(住宅特治)	80,000	80,000	80,000	100.0	100.0			
	急傾斜地崩壊対策(総流防)	165,000	420,000	420,000	39.3	39.3			
	情報基盤緊急整備(急傾斜)	6,000	34,000	34,000	17.6	17.6			
	相互通報システム(急傾斜)	9,000	42,000	42,000	21.4	21.4			
小々計	2,439,000	2,805,000	2,797,200	87.0	87.2				
急傾斜地基礎調査	390,000	87,000	87,000	448.3	448.3				
小計	2,829,000	2,892,000	2,884,200	97.8	98.1				
砂防関係通常国庫補助事業計	5,122,000	5,494,000	5,388,200	93.2	95.1				
東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	100,000	103,000	102,999	97.1	97.1				
災害関連	災害関連緊急砂防	189,000	189,000	390,240	100.0	48.4			
	災害関連緊急地すべり対策	1,350,000	1,350,000		100.0	皆増			
	災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	170,000	170,000		100.0	皆増			
小計	1,709,000	1,709,000	390,240	100.0	437.9				
国庫補助事業計	6,931,000	7,306,000	5,881,439	94.9	117.8				
県単独事業	生活環境整備	通常砂防	488,000	380,500	380,500	128.3	128.3		
		地すべり対策	46,800	31,000	31,000	151.0	151.0		
		急傾斜地崩壊対策	612,000	489,000	489,000	125.2	125.2		
		災害緊急整備(地すべり)	50,000	50,000	50,000	100.0	100.0		
		緊急輸送路関連土砂災害対策	60,000	60,000	60,000	100.0	100.0		
		地すべり対策	20,000	20,000	20,000	100.0	100.0		
		急傾斜地崩壊対策	40,000	40,000	40,000	100.0	100.0		
		砂防等維持修繕	165,500	164,500	164,500	100.6	100.6		
		砂防等調査	161,500	174,980	174,980	92.3	92.3		
		砂防等台帳整備	11,200	12,020	12,020	93.2	93.2		
	小々計	1,595,000	1,362,000	1,362,000	117.1	117.1			
	急傾斜補助	施設整備	30,000	35,000	35,000	85.7	85.7		
		指定促進対策	15,000	23,000	23,000	65.2	65.2		
	小々計	45,000	58,000	58,000	77.6	77.6			
生活環境整備事業計	1,640,000	1,420,000	1,420,000	115.5	115.5				
自然災害	砂防		104,000	104,000	皆減	皆減			
	地すべり対策		17,000	17,000	皆減	皆減			
	急傾斜地崩壊対策		118,000	118,000	皆減	皆減			
自然災害防止事業計		239,000	239,000	皆減	皆減				
県単独事業計	1,640,000	1,659,000	1,659,000	98.9	98.9				
砂防費計	8,571,000	8,965,000	7,540,439	95.6	113.7				
国直轄事業費負担金	1,111,000	1,111,000	1,708,482	100.0	65.0				
砂防費	9,685,140	10,079,258	9,252,179	96.1	104.7				

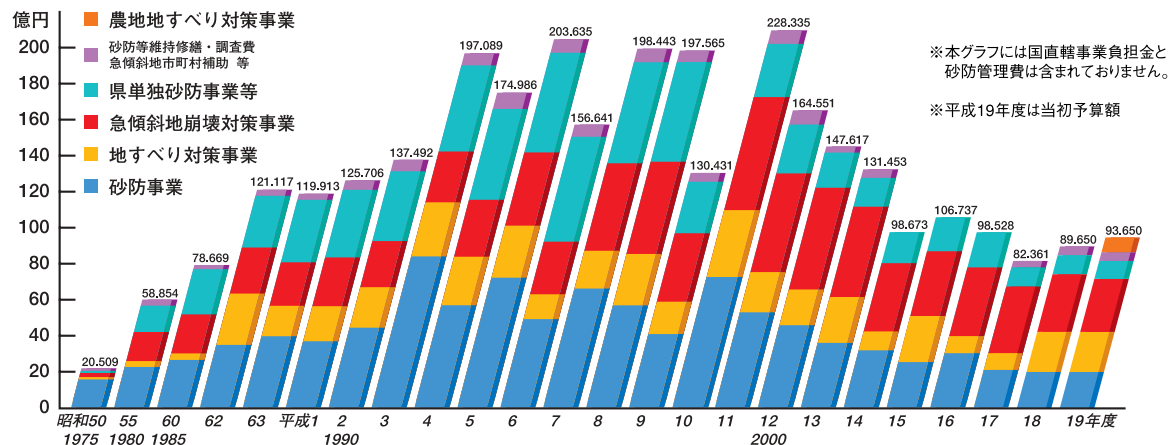
〈国庫補助事業・県単独事業の区分内訳〉

区分	事業名	平成19年度	平成18年度	平成17年度	A/B	A/C
国庫補助事業	砂防	1,753,000	1,948,000	2,129,239	90.0	82.3
	地すべり対策	1,860,000	1,970,000	542,000	94.4	343.2
	急傾斜地崩壊対策	2,594,000	2,899,000	2,721,200	89.5	95.3
	総合土砂災害対策(ソフト)	724,000	489,000	489,000	148.1	148.1
	計	6,931,000	7,306,000	5,881,439	94.9	117.8
県単独事業	砂防	488,000	484,500	484,500	100.7	100.7
	地すべり対策	116,800	118,000	118,000	99.0	99.0
	急傾斜地崩壊対策	697,000	705,000	705,000	98.9	98.9
	その他(維持修繕・調査)	338,200	351,500	351,500	96.2	96.2
	計	1,640,000	1,659,000	1,659,000	98.9	98.9

【農林地すべり】

区分	事業名	平成19年度	平成18年度	平成17年度	A/B	A/C
国庫補助事業	農地地すべり	376,950	393,750	393,750	95.7	95.7
	農地地すべり(災害関連分)	23,000	23,000	0	100.0	皆増
	治山地すべり	329,000	348,000	410,685	94.5	80.1
	治山地すべり(災害関連分)	65,000	65,000	0	100.0	皆増
	計	793,950	829,750	804,435	95.7	98.7

●砂防関係事業費の推移



# あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布しているため、15,193箇所と数多くの土砂災害危険箇所が県では、土砂災害から県民の生命財産を守るため、砂防えん堤などの土砂災害防止施設の整備(ハード対策)とともに、「土住民への危険箇所の周知(ハザードマップの配布、危険箇所表示板の設置)、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソフト

## 市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成19年4月1日現在)

所管土木	市町村名	土砂災害危険箇所危険箇所数				土砂災害警戒区域等区域指定状況				ハザードマップ作成状況(作成年度)	危険箇所表示板設置数	情報機器の整備	
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計			機器の種別	設置年度
下田	下田市	235		311	546	7		12	19	H16	238	CATV、メール配信	H14
	東伊豆町	23	6	56	85					H16	57		
	河津町	92	5	112	209					H16	110	CATV、有線電話	H14
	南伊豆町	252	1	245	498					H16	215	メール配信	H14
	松崎町	92	1	128	221					(H8)H18	144	CTI、同報無線	H16
	西伊豆町	86	1	116	203					(H8)H18	136		
	小計	780	14	968	1,762	7		12	19		900		
熱海	熱海市	98	1	167	266	3		24	27	H16	202	CTI、同報無線	H16
	伊東市	105	2	216	323	1		4	5	H14	169	CATV	H15
	小計	203	3	383	589	4		28	32		371		
沼津	沼津市	116		169	285	11		32	43	H15	180	同報無線	H15
	三島市	23		82	105			30	30	H15	55	CTI、同報無線	H17
	御殿場市	30		7	37					H13	17		
	裾野市	44		38	82					H16	54		
	伊豆市	480	8	371	859			34	34	H15	627	CTI、電話応答装置	H18
	伊豆の国市	103	1	198	302			23	23	H15	135	同報無線、電話応答装置	H15(旧大仁)
	函南町	32	1	74	107	2		9	11	H14	46		
	清水町	2		16	18	2		5	7	H15	7		
	長泉町	2		29	31					H15	13		
小山町	47		61	108					H16	71			
小計	879	10	1,045	1,934	15		133	148		1,205			
富士	富士宮市	40		111	151	5		3	8	H15	57	同報無線、電話応答装置	H16
	富士市	24		108	132					H13	45	コミュニティFM送信装置	H17
	芝川町	67	1	164	232					H13	129		
	小計	131	1	383	515	5		3	8		231		
静岡	静岡市	893	5	1,703	2,601	43		41	84	(H9)H19	1,331	CTI	H18
	富士川町	33	1	60	94					H13	39		
	由比町	26	6	80	112					H16	35		
小計	952	12	1,843	2,807	43		41	84		1,405			
島田	島田市	163	13	389	565					H15・H16	227	インターネット配信	H14
	焼津市	24	1	48	73			13	13	H14	57		
	藤枝市	119	26	318	463	12		25	37	H13	240	CTI	H14
	岡部町	86	1	128	215					H13	85	同報無線	H14
	大井川町												
	川根町	35	13	104	152					H13	152		
	川根本町	42		143	185					H13	184		
小計	469	54	1,130	1,653	12		38	50		945			
御前崎	御前崎市	12		324	336			9	9	H16	26		
	牧之原市	44	2	320	366					H15・H16	66		
	吉田町			6	6					H16	2		
小計	56	2	650	708			9	9		94			
袋井	磐田市	66		211	277			2	2	H15	44		
	掛川市	134	11	881	1,026	33		76	109	H15	149	同報無線、電話応答装置	H15、H16
	袋井市	32		220	252			7	7	H15	45	CTI	H16
	菊川市	44		423	467			24	24	H16	98	CTI、メール配信	H16
	森町	59	5	364	428			3	3	H13	54	同報無線、電話応答装置	H15
小計	335	16	2,099	2,450	24		121	145		390			
浜松	浜松市(1)	292	66	898	1,256	76		73	10	(H9~H15)H18	567	CTI、同報無線	H13~H15
	浜松市(2)	148	5	1,183	1,336	7		31	28	H13~H16	278	同報無線、電話応答装置	H15(旧引佐)
	浜松市計	440	71	2,081	2,592	83		104	187		845		
	湖西市	2		151	153					H15	34		
	新居町			30	30					H16	16		
小計	150	5	1,364	1,519	83		104	187		895			
合計	4,247	183	10,763	15,193	202		480	682		6,436			

■CTI：予め登録された住民の方々へ、市町から自動的に土砂災害情報を電話連絡するシステム

■浜松市(1)は浜松土木天竜支局管内、浜松市(2)は浜松土木天竜支局管内以外



静岡県の土砂災害情報は、  
<http://sabougis.pref.shizuoka.jp/>  
 でご覧になれます。

存在しています。  
 「砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指定や、  
 対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

## 市町別ハード対策（土砂災害防止施設の整備）の実施状況

（平成19年4月1日現在）

所管 土木	市町村名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		要対策 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	15	16.0				164	23	12.8	258	38	14.7
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	7	18.4	60	16	26.7
	河津町	53	13	24.5	5	2	40.0	44	12	27.3	102	27	26.5
	南伊豆町	119	10	8.4	1	1	100.0	131	34	25.2	251	45	17.9
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	18	23.4	149	26	17.4
	西伊豆町	64	16	25.0	1			67	17	23.9	132	33	25.0
	小 計	417	69	16.5	14	5	35.7	521	111	20.5	952	185	19.4
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	12	12.6	187	29	15.5
	伊東市	82	20	24.4	2	1	50.0	110	23	20.0	194	44	22.7
	小 計	173	37	21.4	3	1	33.3	205	35	16.6	381	73	19.2
沼津	沼津市	96	19	19.8				128	67	50.8	224	86	38.4
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	5	62.5				3			11	5	45.5
	裾野市	23	8	34.8				24	6	25.0	47	14	29.8
	伊豆市	328	52	15.9	8	1	12.5	148	29	18.2	484	82	16.9
	伊豆の国市	74	2	2.7	1			82	25	26.8	157	27	17.2
	函南町	14	3	21.4	1			32	5	15.6	47	8	17.0
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	1	5.6	19	1	5.3
	小山町	35	9	25.7				37	16	43.2	72	25	34.7
小 計	596	101	16.9	10	1	10.0	522	166	30.5	1,128	268	23.8	
富士	富士宮市	34	6	17.6				33	11	33.3	67	17	25.4
	富士市	20	10	50.0				34	16	44.1	54	26	48.1
	芝川町	32	8	25.0	1			48	8	16.7	81	16	19.8
	小 計	86	24	27.9	1			115	35	29.6	202	59	29.2
静岡	静岡市	523	102	19.5	5	3	60.0	632	253	39.1	1,160	358	30.9
	富士川町	28	6	21.4	1	1	100.0	21	12	57.1	50	19	38.0
	由比町	17	8	47.1	6			22	11	50.0	45	19	42.2
	小 計	568	116	20.4	12	4	33.3	675	276	40.0	1,255	396	31.6
島田	島田市	65	13	20.0	13	6	46.2	107	49	43.9	185	68	36.8
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	19	76.0	39	27	69.2
	藤枝市	36	7	19.4	26	4	15.4	75	38	49.3	137	49	35.8
	岡部町	33	17	51.5	1	2	100.0	42	13	31.0	76	32	42.1
	大井川町												
	川根町	18	3	16.7	13			25	11	40.0	56	14	25.0
	川根本町	23	4	17.4				33	8	21.2	56	12	21.4
	小 計	188	51	27.1	54	13	24.1	307	138	43.3	549	202	36.8
御前崎	御前崎市	1						33	14	42.4	34	14	41.2
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	100.0	57	16	26.3	72	30	41.7
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	小 計	14	11	78.6	2	3	100.0	93	32	33.3	109	46	46.0
袋井	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
	掛川市	39			11	4	36.4	102	19	18.6	152	23	15.1
	袋井市	7						30	9	26.7	37	9	24.3
	菊川市	9	2	22.2		1		84	26	31.0	93	29	31.2
	森町	23	5	21.7	5	2	40.0	26	3	11.5	54	10	18.5
小 計	98	8	8.2	16	7	43.8	275	60	21.5	389	75	19.3	
浜松	浜松市(1)	128	42	32.8	66	19	28.8	306	61	19.6	500	122	24.4
	浜松市(2)	43	8	18.6	5	3	60.0	281	61	21.7	329	72	21.9
	浜松市計	171	50	29.2	71	22	31.0	587	121	20.6	829	194	23.4
	湖西市							38	5	13.2	38	5	13.2
	新居町							16	4	25.0	16	4	25.0
小 計	43	8	18.6	5	3	60.0	335	70	20.9	883	203	23.0	
合 計		2,311	467	20.2	183	56	30.6	3,354	984	29.3	5,848	1,507	25.8

■要対策箇所：人家5戸以上に被害を及ぼす恐れのある危険箇所のうち、人工斜面や他事業で対応すべき箇所を除いた箇所

# 土砂災害警戒区域等の指定

平成18年度新たに沼津市、伊東市、御前崎市などの12市町で土砂災害警戒区域を504箇所（うち土砂災害特別警戒区域は201箇所）指定し、平成19年3月末現在、市町で682箇所の土砂災害警戒区域（うち土砂災害特別警戒区域365）を指定しました。

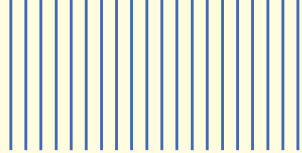
なお、土砂災害警戒区域では市町地域防災計画に基づく警戒避難体制の整備が進められます。また、土砂災害特別警戒区域では災害時要援護者関連施設等の建築を行う場合の開発行為が許可制となり住宅建築物等の構造規制等が図られ、土砂災害を防止するためのソフト対策が推進されます。

土砂災害警戒区域については、砂防室、関係土木事務所、関係市町で図書を縦覧する他、砂防室ホームページ（<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>）でお知らせしています。

静岡県内の土砂災害警戒区域等の指定状況（平成19年3月31日現在）

市町名	土石流		急傾斜地の崩壊		合計	
	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
下田市	7	5	12	12	19	17
熱海市	3	2	24	24	27	26
伊東市	1	1	4	4	5	5
沼津市	11	7	32	21	43	28
三島市			30	29	30	29
伊豆の国市			23		23	0
伊豆市			34		34	0
清水町	2		5	5	7	5
函南町	2		9	9	11	9
富士宮市	5	3	3	2	8	5
静岡市	43	29	41	21	84	50
焼津市			13		13	0
藤枝市	12	10	25	25	37	35
御前崎市			9	9	9	9
掛川市	33	30	76	60	109	90
菊川市			24		24	0
袋井市			7		7	0
磐田市			2		2	0
森町			3		3	0
浜松市	83	21	104	36	187	57
計	202	108	480	257	682	365



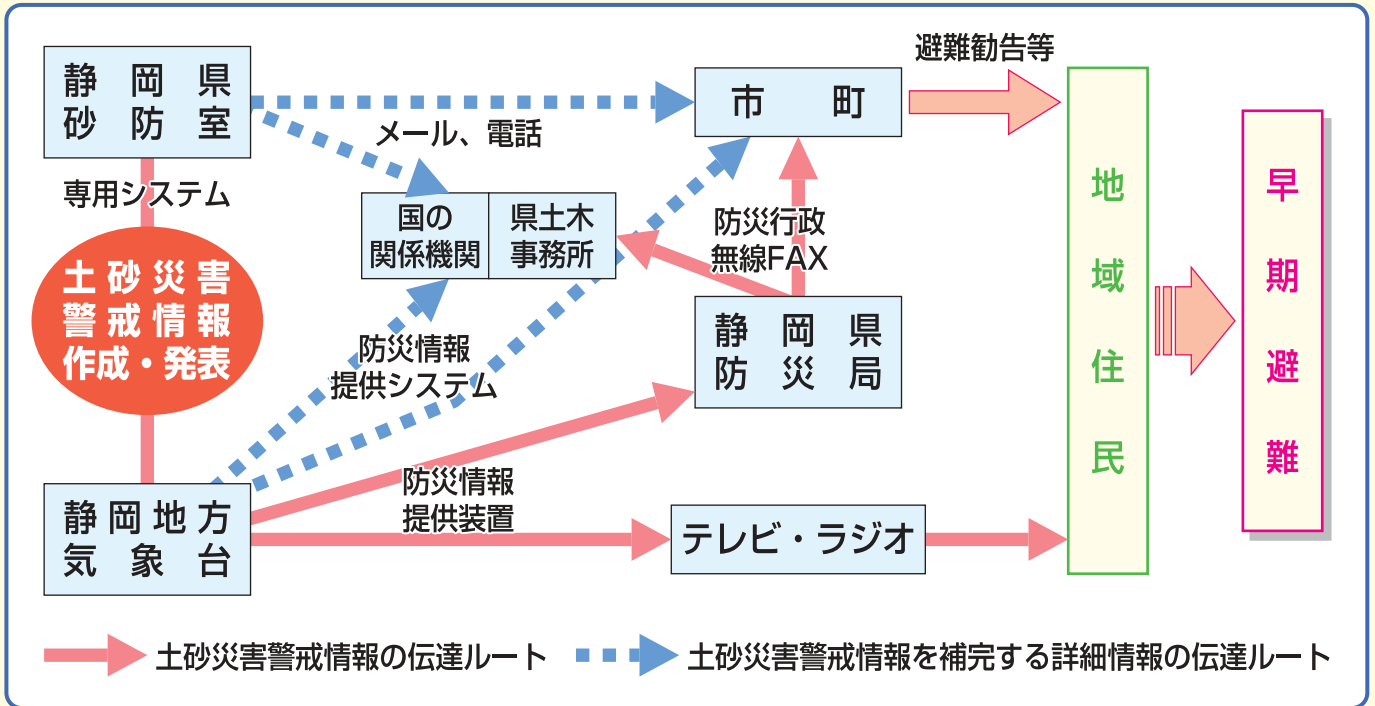


## ～気象庁と連携した新しい防災情報の提供～

# 6月から土砂災害警戒情報の発表が始まります!

静岡県と静岡地方気象台は、土砂災害による人的被害を防ぐため、「土砂災害警戒情報」を平成19年の6月から共同発表します。

この情報は、市町長が避難勧告等を発令する際の判断に活用できるものです。また、住民のみなさんの避難準備や自主避難にも役立ちます。



### 土砂災害警戒情報が有効活用されるために

「土砂災害警戒情報」が、市町の防災活動や住民等への避難勧告等の災害応急対応に有効活用されるためには、「土砂災害警戒情報」が適時適切に提供され、情報を受けた市町は、取るべき対応を十分把握しておく必要があります。

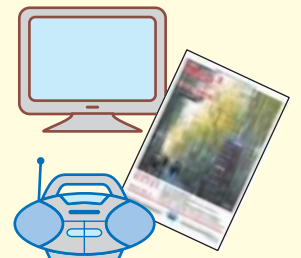
そのため、砂防室では「土砂災害警戒情報」に携わる県、市町の職員が「土砂災害警戒情報」を有効活用するために必要な事項をとりまとめた「土砂災害警戒情報運用マニュアル」を作成しました。

また、市町が土砂災害に関する避難勧告等の発令の判断基準を設定する際に参考となる事項を取りまとめた「避難勧告等の判断基準設定に係る参考資料」を作成しました。

これらの資料は、4月から開催する説明会を通じて、各市町、各土木事務所に配布する予定です。

### 説明会・広報等の予定

対象	開催時期（予定）	備考
市町長	4月～5月	土砂災害警戒情報への協力依頼の通知、砂防協会総会で説明
県、市町職員	4月中旬～5月上旬	土木事務所単位で説明会を開催
報道各社	4月	テレビ、ラジオ局を中心に趣旨説明と即時放送の協力を依頼
県民	5月～6月	県民だより、市町広報誌等で広報





平成18年度

# 「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」優秀作品の表彰

次世代を担う小・中学生の皆さんに、土砂災害及びその防止についての理解や関心を深めていただくため、平成18年度に「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」を募集しました。本県からは97点、全国では5,459点の応募がありました。

表彰式は3月27日に県庁で行われ、表彰状が授与されました。入賞された皆さん、おめでとうございます。



## ■ 受賞者の皆さん

国土交通省事務次官賞	ポスター	浜松市立光明小学校	4年	中野 稔規
国土交通省砂防部長賞	絵画	静岡市立籠上中学校	1年	松永 将
	ポスター	浜松市立浜名中学校	2年	奥野 雅子
静岡県知事賞	作文	函南町立東中学校	2年	下山 安奈
	ポスター	静岡市立清水第二中学校	3年	若林 信宏
静岡県土木部長賞	絵画	掛川市立桜木小学校	6年	新城エリカ
全国砂防協会 静岡県支部長賞	ポスター	川根本町立中川根南部小学校	6年	佐々木ゆみ
	作文	静岡市立高松中学校	1年	古熊 夏子

※学校・学年は応募当時のものです。

## 【受賞作品の紹介】

### 作文の部

#### ● 国土交通省砂防部長賞 『土砂災害について』 函南町立東中学校2年 しもやまあん な 下山安奈さん

8年前の夏、わたしが幼稚園生だったころに、大きな台風がきた。その年の夏は長雨が続いていて、わたしの住む地域の人たちは、雨の被害を心配していた。というのも、この地域は大雨が降るたびに、床上浸水や床下浸水の被害にあっていたからだ。しかし、幸いにもわたしの家は高台にあるため、その心配はなかった。

わたしの家のまわりには、いつも水がついてしまう家の車がたくさんとめてあった。そして、心配していたとおり川が氾濫し、広い道も水につかって、人も車も通れなくなってしまった。この状況は、大雨や台風するときにはよくあることなので、またいつものことかと思っていた。

しかし、その夏はいつも以上の大雨だったため、家の近くの山で土砂くずれがおこってしまった。山には土砂くずれを防ぐための柵がなかったのだ。予想もしていなかったことなので、家族も近所の住民も、とてもおどろいていた。避難のために止めてあった車も土砂に流されたり埋まったり、家の中にまで土砂が流れ込んでしまったところもあった。道が大木でふさがれたり、どろでうもれたりした。この地区への入り口は水がつまっているため、救助の車も入ってこれず、孤立状態だった。

そのため、住民が自分たちの力で復旧作業にとりかかった。父も母も参加した。大きな車を持っている人は、自分の車と土砂の中の車をロープでつないでひっぱった。スコップやシャベルを持った大人たちが、作業をしていたが、歩くのも大変そうだった。

わたしは、この土砂災害を目にしてから数年たっているが、テレビで土砂災害のニュースを見るたびにあの年のことを思い出す。被害にあった人たちは、きっと人ごとだと思っていたと思う。わたしも、まさかおこるとは思っていなかったから。きっと大人たちも、思っていなかったのだと思う。そのため、災害を防ぐことができなかったのだと思う。でも、実際自然災害は、自分の近くでおこってしまう。わたしの地区も、もう少しでも災害を予想することができていたのなら、山に柵をつくるなどして防いでいたのかもしれない。被害がでてからではおそかったと思う。

だから、少しでも災害がおこる危険のある場所は、すぐに、自分たちにも身近におきることなのかもしれないと、地域で話し合い、対策をとるべきだと思った。そして、少しでも被害が減ってほしい。

わたしの地区でおきた土砂くずれでは、日曜日の朝で人通りもなく、

通勤・通学の車や自転車も少なかったため、一人のケガ人もださずにすんだ。けれど、全国には、土砂災害によって死亡したり、ケガをしたりした人がたくさんいる。

わたしの地区も、今は防護柵が設置された。家の前の山にも、ブロックが積まれた。が、それで完璧かどうかは分からない。

土砂災害のために、なにか対策をしておくことは一番大事だと思うが、残念ながら土砂くずれは、自然の力でおきてしまう。そのため、おこらないよう願っても、注意をしても、いいという訳ではない。だから、なにかおこってしまったときは、住民どうしの強い絆で一日も早く元の生活にもどれるよう、協力しあっていくことがとても大切だと思う。

わたしの地区も、土砂災害にはあってしまったけれど、この住民の協力があったからこそ、早い復旧ができたのだと思う。あのときわたしは、まだ小さかったので、大人の人たちが一生懸命作業している姿を、ただ見ているだけだったが、中学生となった今は、もしなにかおきたときは、自分ができることに積極的に参加して、少しでも地域の役に立ちたいと思う。

そしてあと一つ、あのとき水道の水が赤くにごって飲めなかったことを覚えている。そのため、家にあった、ウーロン茶やジュースを飲んでた。あれから母は、ペットボトルの水を買いおきするようになったと言っていた。だから、各家庭での対策も必要だと思う。

わたしは土砂災害を自分の目で見て、災害の大変さが分かった。そして、被害にあう人が少なくなしてほしいと思った。そのためには、対策や、地域の協力、家庭での日ごろからの準備が大切だと思った。

これらの入賞作品は  
砂防室ホームページでもご覧いただけます。  
(<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>)  
また、土砂災害防止月間にあわせ市町へ配布する  
ティッシュボックスにも掲載されます!

絵画の部



●国土交通省砂防部長賞  
静岡市立籠上中学校1年  
まつなが しゅう  
松永 将さん



●静岡県土木部長賞  
掛川市立桜木学校6年  
しんじょう  
新城エリカさん

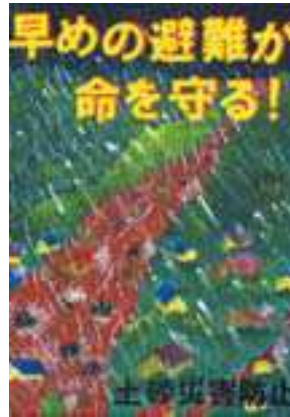
ポスターの部



●国土交通省事務次官賞  
浜松市立光明小学校4年  
なかのとしき  
中野稔規さん



●国土交通省砂防部長賞  
浜松市立浜名中学校2年  
おくのまさこ  
奥野雅子さん



●静岡県知事賞  
静岡市立清水第二中学校3年  
わかばやしひる  
若林信宏さん



●全国治水砂防協会 静岡県支部長賞  
川根本町立中川根南部小学校6年  
ささき  
佐々木ゆみさん

作文の部

●全国治水砂防協会静岡県支部長賞 『土砂災害防止について』 静岡市立高松中学校1年 古熊夏子さん

今年長野県をはじめとして、日本各地で集中豪雨によって発生した崖崩れや河川の氾濫に巻き込まれて、20名を超す方々が亡くなりました。

私自身は、集中豪雨による被害に遭ったことはありませんが、父に聞いてみたら、静岡市で起きた大きな土砂災害といえば、昭和49年7月7日の七夕豪雨と呼ばれた集中豪雨があって、丸山町や福田ヶ谷といった地区で山が崩れ、旧静岡市だけでも23名の方が亡くなったということでした。

この集中豪雨の本を読んでみると、崖崩れや浸水によって、静岡市は都市としての機能を失ってしまったそうです。

私は、その丸山町や麻機への辺りを見に行ったら、急傾斜地崩壊危険区域という看板があり、そこには山と宅地の間に、コンクリートの擁壁工とフェンスでできた落石防止柵が施工されていました。

こうした崩壊防止工事をする事で、人命と財産を守っていることが分かりました。

実際、丸子の井尻という所では、平成15年7月4日の集中豪雨で崖崩れが発生しましたが、崩壊土砂をこの落石防止柵で止めることができたそうです。

また、麻機多目的遊水池の脇の道路の電柱には、約二メートル位の位置に七夕豪雨の時の洪水痕跡という標示板がありました。こんな高さまで水に浸かるなんて、想像しただけでも怖くなりました。

土砂災害について調べてみると、その多くが梅雨や台風の際に発生しているということです。その種類として、崖崩れと土石流と地滑りの三つがあるということでした。

崖崩れの前兆として斜面に割れ目や亀裂の様な物が見えたり、水が沸きだしたり、小石が少し落ちてきたりするそうです。

集中豪雨が夜に起きた場合は、土砂災害が発生するかどうかの判断が大変だと思いますが、地震と違って、天気予報で今後起こり得る降雨量から予想がたてられ、避難の準備をすることができると思います。

静岡市の山間部では過疎化や高齢化が進み、災害に対して弱くなっているそうです。静岡市には、日本三大崩壊のひとつといわれている大谷崩れがあります。私は、大谷崩れには行けませんが、梅ヶ島まで行ってみたら、その道すがら砂防堰堤や法面工といった崩壊防止工事が何箇所も施工されていました。

私は、砂防堰堤がどんな役割をしているのかわかりませんでしたが、堰堤の上流部を見たら大きな岩がたくさん堆積していました。こんなに大きくて重いものがゴロゴロと転がり落ちて、道路を塞いだり、人家を押し潰したら恐ろしいと思いました。また水のエネルギーは、私たちの想像をはるかに超えた力を出す感覚を感じました。

静岡県では、森林保有者などによる整備が困難となっている荒廃した森林のうち、本来森林が持っている「森の力」を発揮させるために、緊急に対策が必要な森林を対象として、杉・松の人工林を天然林との混交林化にするよう整備を進めて行くそうです。

土砂災害を防ぐには、砂防堰堤や法面工や擁護壁といった人工物の施工と、森林の整備を調和させていくことが大切だと思います。

私の住んでいる所は、住宅地で土砂災害とは一見すると無縁と思えますが、近くに大谷川放水路があります。その河口付近の石碑に放水路建設は、地元の意向に合致しない面があって、停滞を余儀なくされていたが、昭和49年の七夕豪雨による大災害の後、地元住民によって構成されていた大谷川対策委員会の懸命な努力が、放水路の建設が大谷地区及び巴川流域全体の発展につながるという共通認識を形成し、その結果、地権者をはじめ多くの関係者の深い理解と賛同を頂き、静岡、清水両市民の永年にわたる悲願が達成された、と刻んでありました。

私は、七夕豪雨の災害の大きさを今一度知るとともに、災害対策に対しては行政と地元が一体となって、建設的に取り組まなければならないと思いました。

私は、今自分ができることは、土砂災害を含めて災害にあった際は、冷静な行動をとることが大事だと思いました。

# 「地すべりフォーラム2007in由比」開催される

1月18日～19日に、由比町で「地すべりフォーラム2007in由比」が開催されました。

このフォーラムは、由比地すべり対策事業や地すべりが日本経済に及ぼす影響を広く一般の方に周知を図り、防災意識を高めることを目的に開催されました。

18日は、望月国土交通副大臣や亀江砂防部長、望月由比町長、永田静岡県土木部技監はじめ全国防災関係者や地域住民の方など約450名が参加されました。



由比地すべり全景（富士砂防事務所提供）

フォーラムでは、由比小学校の生徒による研究発表会やクイズ形式による由比町の紹介がありました。その後、由比の歴史、文化を踏まえた由比地すべり対策事業の今後についてディスカッションが行われました。

19日の現地見学会は、船上から由比地すべりを視察するコースや、地すべり管理センターを視察するコースがあり、歌川広重も描いた薩埵峠から望む由比町と富士山を徒歩により見学しました。

## プログラム

### 1/18(木) フォーラム

由比町町民センター大ホール 13:00～17:10

- ・研究発表 私たちの暮らす由比町（由比町立由比小学校4年生）
- ・第1部 由比に関する質問と解答  
（由比町立由比小学校4～6年生、由比町立北小学校4～6年生）
- ・歓迎アトラクション（由比町立北小学校児童による竹太鼓）
- ・第2部 パネルディスカッション「由比地すべり対策のあり方」
 

{	コーディネーター	山崎NHK解説委員
	パネリスト	土屋静岡大学教授、望月由比町長ほか
	コメンテーター	亀江国土交通省砂防部長

### 1/19(金) 現地見学会

薩埵峠コース 9:00～12:30 / 船上コース 9:00～12:30



パネルディスカッション



望月由比町長の挨拶



由比小学校の生徒による研究発表



薩埵峠から眺めた由比地すべり

## 全国治水砂防協会各支部事務局員会議が開催される

3月15日に、砂防会館で全国治水砂防協会各支部の事務局員会議が開催されました。

始めに、大久保理事長の挨拶の後、市町村合併に伴う会員数の推移、地域の安全を確保するための砂防協会の活動等についての報告がありました。続いて、岡本理事より平成18年度の事業報告が、宮内事務局長より運営事項についての説明がありました。また、国土交通省砂防部の大野砂防計画調整官から「近年の土砂災害の課題と取組み」と題し、講演があり、地方の協会事務局員にとっては有意義な会議になりました。



大久保理事長の挨拶

## 静岡県ボランティア協会総会が開催される



棚田会長の挨拶

2月2日に、平成18年度総会が静岡市内で開催されました。棚田会長、大池副会長他、会員32名の出席のもと、土砂災害防止月間での急傾斜地パトロールへの参加等、平成19年度の活動計画が決定されました。なお、平成18年度末現在、会員は61名(内、斜面判定士23名)となっています。

## 茨城県砂防協会が本県の砂防事業等を視察

1月30日に、茨城県砂防協会の一行が本県の砂防事業を視察されました。

鬼沢鉾田市長他一行21名は、災害復旧事業により復元された登録文化財である木和田川(岡部町)の石造りえん堤(兜えん堤)を視察されました。参加者の皆さんは、土木事務所担当者からの説明を熱心に聞かれ、その後活発な意見交換をされました。



土木事務所担当者の説明

## 環富士山火山防災連絡会定期協議会が開催される

2月7日に、富士山周辺の静岡県側9市町と山梨県側7市町村による「環富士山火山防災連絡会」第2回定期協議会が開催されました。今回の定期協議会では、1月26日に実施した環富士山火山防災情報伝達訓練の問題点、反省点について意見交換を行いました。

また、この会議で「富士山の噴火に伴う降灰とその影響」について気象庁地震火山部長谷川調査官による研修が行われました。

## 由比地すべり検討委員会が開催される

3月22日に、第5回由比地すべり対策技術検討委員会が静岡市内で開催されました。この委員会は、由比地すべり機構とその対策の基本的な方針について検討するもので、平成16年度から開始され今回は第5回目となります。

委員会では、地すべり動態観測結果や地すべり機構解析、安定解析、地震解析の解析結果が報告され、平成19年度の地下水を排除する抑制工の実施計画を含む今後の対策工の実施計画及び調査計画が承認されました。



土委員長の挨拶

## 静岡県土砂災害防止法指定検討委員会が開催される

1月24日と3月14日の2回にわたり、静岡県土砂災害防止法指定検討委員会が開催されました。委員会では、事務局から地すべり基礎調査マニュアル（案）を報告するとともに、県内の警戒避難体制整備における課題や今後の取り組み等について、委員の皆様方より意見・助言等を頂きました。

警戒避難体制整備の今後の取り組みに関しては、砂防・防災等のより一層の連携を図るべきであるとともに整備推進にあっては、県から市町への支援が今まで以上に必要であるという意見を頂きました。



土屋委員長の挨拶

## 第3回「静岡県土砂災害警戒情報検討委員会」が開催される



委員会の様子

2月23日に、第3回目となる「静岡県土砂災害警戒情報検討委員会」を開催し、土砂災害警戒情報を発表するための基準等について意見・助言をいただきました。

今後、県と気象台では、土砂災害警戒情報に関する協定を締結し、平成19年6月から土砂災害警戒情報の発表を開始する予定です。

## 口坂本地すべり基本計画検討委員会が開催される

2月26日に、口坂本地区の地すべり基本計画検討委員会が開催されました。

委員会では、静岡市葵区の口坂本地区の地すべり防止対策の概成基準や、今後の方針について各委員から参考になる助言及び指導をいただきました。今後も必要に応じ検討会を設け、口坂本地すべり対策の効果的な実施を図っていきます。



中村委員長の挨拶

## 静岡市都市山麓グリーンベルト整備に関する意見交換会が開催される



意見交換会

3月6日に、静岡市都市山麓グリーンベルト整備に関する意見交換会を開催しました。

これは、樹林帯（グリーンベルト）の維持管理活動を行っている「森と水辺を育てる会」、静岡市、県が永続的な維持管理を実施していくにあたり、具体的な支援策や窓口を整理し、維持管理について共通認識を持つことを目的に開催されました。

静岡市の各課から「助成制度」、「広報活動の方法」など多くの具体的な支援策が出され、ボランティア団体および県にとって有意義な会となりました。今後、これらの支援策を活かし、協働で維持管理活動を進めていきたいと考えています。

## ぼうさい探検マップコンクールで 静岡県内の小学校2校が全国入賞

1月20日に、「第3回ぼうさい探検隊フォーラム」（主催：日本損害保険協会、朝日新聞、ユネスコなど）で、全国の小学生らが安心・安全をテーマに募集した「ぼうさい探検マップ」の表彰式が行われました。全国から1,052作品の応募があり、静岡県からは浜松市立村櫛小学校の「村櫛防衛隊」が総務省消防庁長官賞に、浜松市立井平小学校「伊平もっと知り隊」がまちのぼうさきキッズ賞に選ばれました。

「ぼうさい探検マップ」は、小学生が自分たちの知恵と足で、地域の交通安全、防犯、防災等の現状を調べ、同級生や父兄などに発表し、防災意識がの向上を図ることを目的としたものです。

特に、井平小学校の作品は、中山間地にある学校らしく、土砂災害をテーマのひとつとしており、土砂災害危険箇所表示板などを丁寧に観察し、土砂災害の危険性を自分たちが認識するとともに、地域の大人たちにも周知を図る素晴らしい作品となっています。



浜松市立井平小学校「伊平もっと知り隊」

### 総務省消防庁長官賞



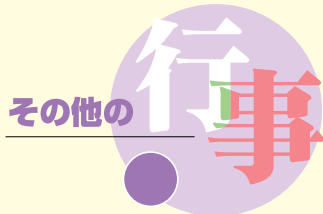
浜松市立村櫛小学校  
「村櫛防衛隊」

1学期に6年生全員で取り組んだ防犯マップ作りを経て、関心を深めた有志5人が夏休みに、防犯と事故、災害対策をテーマに地元を調べたものです。

### 浜松市立伊平小学校「伊平もっと知り隊」

学校が山に囲まれた谷あいの土地にあるため、土砂災害の危険のある場所や、日頃の備えを訴えたものです。

### まちのぼうさいキッズ賞



平成19年	1月	18日	東海4県土砂災害防止法担当者会議（三重県津市）
		25日	富士山火山砂防連絡会議（富士宮市）
	2月	2日	富士山土砂災害対策連絡会（富士宮市）
		9日	東海4県課長補佐会議（三重県津市）
	3月	6日	大沢川扇状地堆積土砂処理協議会
		15～16日	砂防および地すべり防止講習会（砂防会館）